

臨床腫瘍セミナー

9月16日(火)

18時～19時



消化器系腫瘍に対する内視鏡診療時の 抗血栓薬服用者への対応とアクシデント

～院内コンセンサスの紹介も含めて～

福島県立医科大学 内視鏡診療部 副部長

引地 拓人 先生



講演内容：

高齢化社会の進行に伴い、福島医大病院で消化器内視鏡検査・治療を受ける方の約20%が抗血栓薬の服用者です。この抗血栓薬を休薬すれば脳梗塞や心筋梗塞のリスクがありますし、継続の上で消化器系腫瘍の治療を行えば術中・術後の出血リスクが上昇します。したがって、内視鏡治療と抗血栓薬継続の両者のメリット・デメリットを天秤にかけた上で、患者さんにとってよりよい診療を行わなければなりません。また、この問題は消化器内視鏡診療のみならず、外科系の治療すべてに関連してきます。そこで、抗血栓薬服用者に対する内視鏡診療部の取り組みと実際の症例、ならびに、安全管理部の指導で作成している外科手術を含めた院内コンセンサスを紹介します。

略歴：

1995年 3月 福島県立医科大学医学部を卒業後
1995年 4月 第2内科入局

その後、大原総合病院、福島労災病院、竹林病院、公立小野町
地方総合病院で勤務

2003年 4月 当学第2内科助手
2005年11月 内視鏡診療部助手
2009年 6月 内視鏡診療部副部長



『次回お知らせ』

平成26年10月21日(火)
埼玉県立がんセンター 緩和ケア科
科長兼副部長 余宮 きのみ 先生
演題『知っておくと得する知恵満載！
現場で生きるがん疼痛治療ツボ』



- *がん治療に携わる医師及びメディカルスタッフを対象に公開セミナーとして開催されます。
- *本セミナーは、「東北がんプロフェッショナル養成支援プラン」事業の一環となっております。
- *本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必須科目(規定の8)に該当します。